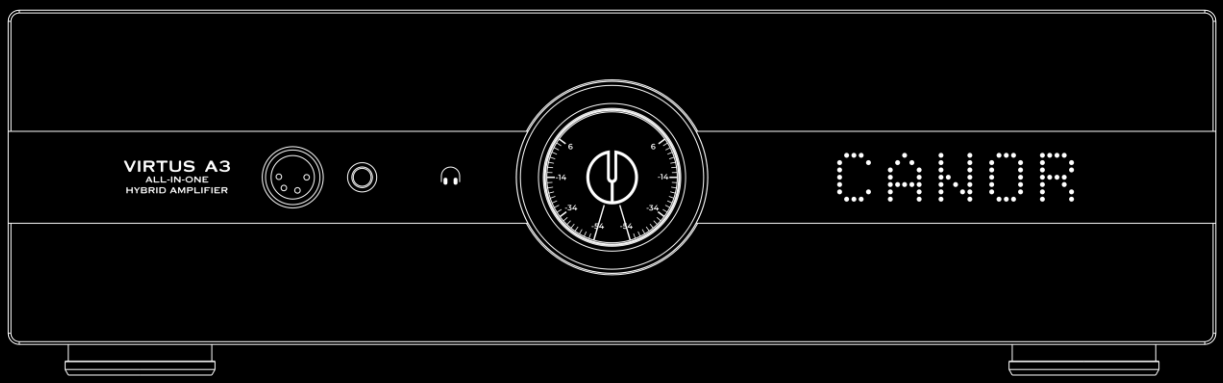
VIRTUS A3
USER MANUAL

取扱説明書 - ver. 2.01

CANOR VIRTUS A3

All-In-One Hybrid Amplifier User Manual
真空管ハイブリッドプリメインアンプ VIRTUS A3 取扱説明書



Dear music lover, (はじめに)

このたびは、CANOR VIRTUS A3 All-In-One Hybrid Amplifier をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は、デジタル、アナログ入力に対応した、ClassA デュアルモノ・真空管ハイブリッドプリメインアンプです。一つの筐体に、高出力アンプ、完全ディスクリート設計のフォノプリアンプ、ヘッドホンアンプ、DAC の４種類の機能が搭載されています。

本取扱説明書には、設置や操作に関する重要な情報が含まれています。本機の特性を最大限に発揮、維持するために、本説明書をお読みの上、内容をご理解いただき末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

SAFETY INSTRUCTIONS　(重要な安全上の注意事項)

本機を使用する前に、必ず以下の注意事項をご確認ください。

1. 取扱説明書の確認
   - 本機を使用する前に、必ずすべての安全上の注意事項及び取り扱い説明を確認してください。

2. 取扱説明書の保管
   - 本取扱説明書は、いつでも確認できるよう保管してください。

3. 取扱説明書に従う
   - 本取扱説明書の安全上の注意事項及び取り扱い説明に、必ず従ってください。
     設置、使用及び機器との接続に疑問がある場合は、正規代理店またはお買い上げいただいた
     販売店にご相談ください。

4. 設置場所に注意
   - 以下の場所には設置しないでください。火災や感電の恐れがあります。
     ・火気、可燃物の近く　　・子どもの手の触れる場所
     ・ベッド、ソファ、ラグ、カーペット等の柔らかい素材や布張りの家具の上
     ・本棚、物置、キャビネット等の閉じた空間の中
     ・キッチン、バスルーム、洗面所、プールサイド等、水や液体物の近く
     ・ストーブ、ヒーター、暖炉、その他発熱する機器(アンプ含む)等、熱源の近く
     ・直接日光があたる場所、風通しの悪い場所、埃の多い場所、極端に暑い場所、
       寒い場所、湿度の高い場所

5. 接続ケーブルやアクセサリーについて
   - 以下の点に注意して、適切な機器とのみ接続してください。
     ・メーカーが推奨するケーブルやアクセサリーを使用してください。

6. ラック、ボード、インシュレーターについて
   - 以下の点に注意して、適切に設置してください。
     ・メーカーが推奨するラック、ボード、インシュレーター、または本機と共に販売された製品を
       使用してください。
     ・設置の際は、必ず各ラック、ボード、インシュレーターメーカーの指示に従い、各メーカーが
       推奨する付属品のみ使用してください。
     ・機器をのせた状態でラック等を移動させる場合は、転倒しないようご注意ください

7. 不安定な場所は避ける
   - 本機を不安定な場所に設置しないでください。万一落下すると本機が損傷するだけでなく、近く
     にいる人(子ども等)が怪我をする恐れがあります。

8. 換気スペースを確保
   - 換気と本体の安全な動作を助けるため、本機の周りに十分な換気スペースを確保してください。
     換気スペースを確保するため、本機をソファや布張りの家具の上に設置しないでください。
     また動作中は本機にカバーをかけないでください。通気口周りに適切な空気が流れなくなります。

9. 熱対策をする
   - 本機をラジエーター、ストーブ、その他発熱する機器等、熱源の近くに設置しないでください。
     また本機の背面、上部、横には、それぞれ最低でも 20cm 以上のスペースを確保してください。

10. 水や液体物に注意
    - 本機をバスルーム、洗面所、プール等、水や液体物の近くに設置しないでください。
      また花瓶や植木鉢は落下して本機を濡らす危険性があるので、近くに設置しないでください。

11. 適切な主電源に繋ぐ
    - 専用に設計された適切な主電源に接続してください。本機は日本の 100V(50/60Hz)専用です。

CANOR

12. 電源ケーブルの取り扱い
- 電源ケーブルの取り扱いには特に注意してください。
  足や物に絡まないよう配線に注意し、電源ケーブルの機械的な損傷を防いでください。
  また本機を長期間使用しない場合は、電源ケーブルのプラグを壁コンセントから抜いてください。

13. 修理権限について
- すべての修理は、正規代理店等、修理権限を有する者により行われる必要があります。
  ユーザー自身による分解、改造等は絶対に行わないでください。

14. 修理が必要な場合
- 以下に該当する場合は、正規代理店による修理が必要です。
  a) 電源ケーブルを破損した場合
  b) 本機を水の中に落とした、または水がかかった場合
  c) 本機が雨に晒された場合
  d) 本機が正常に動作しない場合
  e) 本機が落下した、またはその他の機械的損傷があった場合

15. 一般的な警告
- 本機は、本取扱説明書に従って使用してください。
  本機に物を落としたり、液体物を噴霧したりしないようご注意ください。故障の原因になります。

上記注意事項に従わない場合、メーカー及び正規代理店は一切の責任を負いかねます。
また感電の恐れがあるので、絶対に本機を雨や湿気に晒さないでください。

DELIVERY CONTENT (同梱)

本機には、以下のものが付属しています。箱から商品を取り出して中身を確認してください。
欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

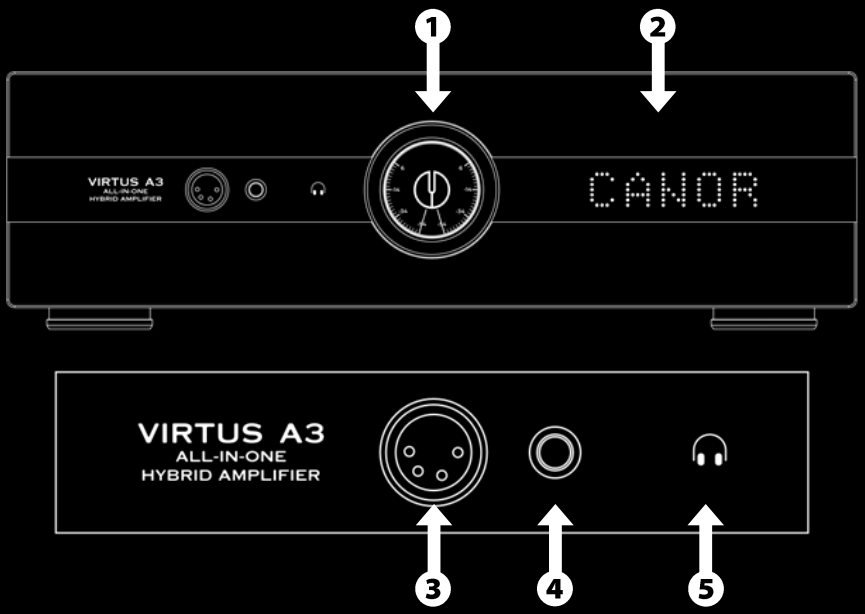
1. VIRTUS A3 本体
2. リモコン　　*別途、CR2032電池が必要です
3. 電源ケーブル
4. 2P/3P変換アダプター
5. 取扱説明書
6. 布製手袋

CAUTION! (廃棄に関する注意事項)

本機を廃棄する場合は、所属する地方公共団体の廃棄ルールに従ってください。

CANOR

FRONT PANEL （フロントパネル）



❶	ボリュームコントロール + セレクター	：音量調整、操作用ノブ (タッチパネル画面付き)
❷	LED 表示	：ロゴや各種情報を表示
❸	ヘッドホン用 XLR 出力	：ヘッドホン用 4-pin XLR 出力
❹	ヘッドホン用 ジャック出力	：ヘッドホン用 6.3mm ジャック出力
❺	ヘッドホン ON/OFF	：ヘッドホン出力の On/Off

HEADPHONE AMPLIFIER / HEADPHONE OUTPUTS （ヘッドホンアンプ出力）

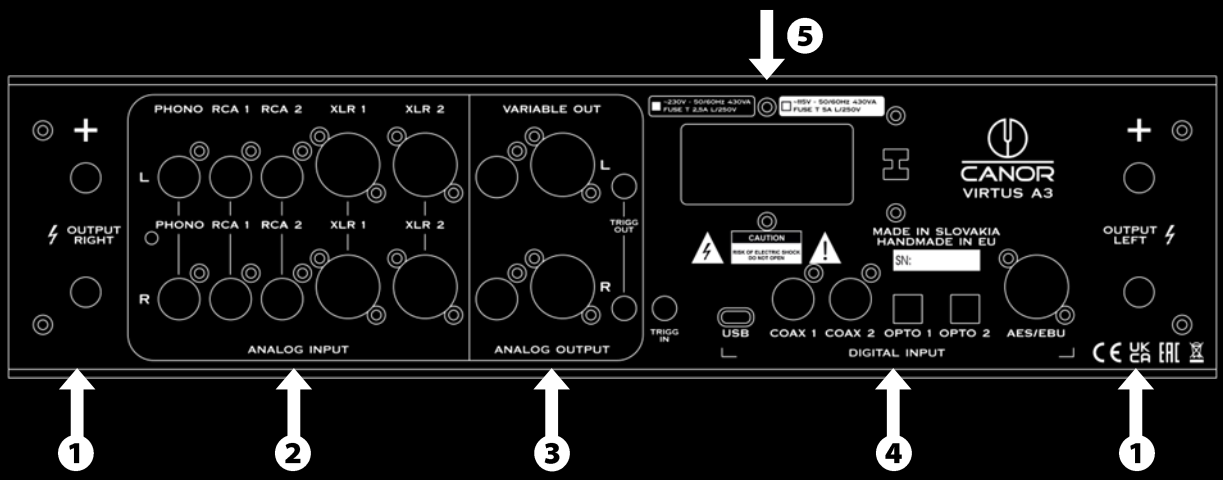
本機は、フロントパネルにヘッドホン用 4-pin XLR 出力と、6.3mm オーディオジャック出力を備えています。

ヘッドホン出力を On にするには、フロントパネルのヘッドホンアイコン(❺)を押してください。本操作により、スピーカー端子への出力信号を切断します。
ヘッドホン出力を Off にするには、再度ヘッドホンアイコン(❺)を押してください。

ヘッドホン出力が On で、音量が-35dB 未満に設定されている場合、ヘッドホン出力を Off にしてスピーカー端子への出力信号を再接続すると、音量が自動的に 20dB 低下します。この調整は、接続されたスピーカーを保護するために行われます。

CANOR

BACK PANEL (バックパネル)



❶	スピーカーターミナル	: LEFT / RIGHT SPEAKER OUTPUTS L/R スピーカー出力端子 (4Ω, 8Ωスピーカー専用)
❷	ANALOG INPUT	: PHONO Grounding Screw ターンテーブル用アースポイント (接地点) : PHONO Analog Input L/R フォノアナログ RCA 入力 (MM/MC カートリッジ用) : RCA1, RCA2 Analog Inputs L/R アナログ RCA 入力 1 & 2 : XLR1, XLR2 Analog Inputs L/R アナログ XLR 入力 1 & 2
❸	ANALOG OUTPUT	: [VARIABLE OUT] RCA Analog Output [可変] L/R アナログ RCA 出力 : [VARIABLE OUT] XLR Analog Output [可変] L/R アナログ XLR 出力 : TRIGGER OUT 3.5mm ジャックトリガー出力 (12V) x 2 個 : TRIGGER IN 3.5mm ジャックトリガー入力 (12V)
❹	DIGITAL INPUT	: USB Digital Input USB Type-C デジタル入力 : COAX 1, COAX 2 Digital Input 同軸(Coaxial) デジタル入力 1 & 2 : OPTO 1, OPTO 2 Digital Input 光(Optical) デジタル入力 1 & 2 : AES/EBU Digital Input AES/EBU 3-pin デジタル XLR 入力
❺	主電源 / ヒューズ	: 主電源スイッチ/ヒューズソケット 100V 50/60Hz 430VA, ヒューズ T5.0A L250V

CANOR

REMOTE CONTROL （リモコン）

リモコンのセンサーを、直射日光やその他の強い光源にさらさないでください。またリモコンは、約５メートルの距離から本体センサーに向けて、60 度の角度で使用してください。

リモコンと本体センサーの間に障害物がないことを確認してください。また、ガラス越しに機器が設置されている場合、リモコンの作動距離が短くなる場合があります(ガラスの色や厚みによって異なります)。なお、リモコンのボタンは、本機フロントパネルのボタンと同じ機能を持っています。

リモコンは、本機に内蔵されたアンプ、DAC 及びフォノプリアンプと互換性があります。
対応するボタンと機能は以下のとおりです。
※様々な機種を操作する共通リモコンのため、本機では使用しないボタンもあります。

基本機能	
⏻	: 電源 On/Off
Dimm	: ディスプレイの明るさ(輝度)を調整します。
Theme	: 対応機器の表示テーマを切り替えます。

フォノプリアンプ用機能	
MM/MC	: MM/MC カートリッジ設定を切り替えます。
R/C	: 負荷抵抗(MC)と負荷容量(MM)の設定を切り替えます。

DAC 用機能	
Upsamp.	: アップサンプリング機能の有効/無効を切り替えます。
IN DAC	: DAC 入力選択
Reclock	: リクロック機能の有効/無効を切り替えます。
Filter	: デジタルフィルター選択

アンプ/プリアンプ用機能	
◄IN / IN►	: アンプ入力選択
Mute	: 音量をミュート(消音)します。
Vol- / Vol+	: 音量を調整します。

CD プレーヤー用機能	
Eject	: CD プレーヤーから CD を取り出します。
IN CD	: CD プレーヤー入力選択
Repeat	: リピートボタン （1 曲リピート → 全曲リピート → リピート無効)
■	: 停止ボタン

⏮	：早戻しボタン。短押しで、トラックの先頭にジャンプします。再生時間が 5 秒を超える場合、さらに押すと１トラック分戻ります。 長押しで、曲の再生を滑らかに早戻しします。
⏭	：早送りボタン。短押しで、１トラップ分、後ろの曲に進みます。 長押しで、曲の再生を滑らかに早送りします。
⏯	：再生/一時停止ボタン

BASIC FUNCTIONS OF REPRODUCTION (起動・停止の基本機能)

注意	本機の主電源が Off、または壁コンセントから電源ケーブルが抜けている状態で、すべての入力及び出力が接続されていることを確認してください。

1. 本機に電源ケーブルを差し込みます。
2. バックパネルにある主電源スイッチから本機の電源を On にして、スタンバイモードにします。フロントパネルの LED 表示が赤色に点灯します。
3. スタンバイモードで、フロントパネルの操作用ノブのタッチパネルに触れるか、リモコンの電源ボタンを押すと、本体の電源が On になります。
この際、本機は真空管の予熱を行う電源投入シーケンスを開始しますが、これにより真空管の寿命を延ばすことが可能です。
4. 本体の電源を Off にした場合、本機は冷却サイクルを開始します。
5. 初回電源投入時、または主電源が切断された場合、入力は XLR1、音量レベルは-44dB にプリセットされます。

CANOR

OPERATION OF THE VIRTUS A3 (本体操作)

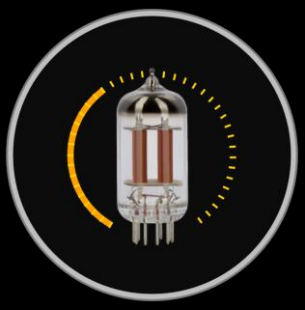
本機は２つのディスプレイを搭載しています。

■ ドットマトリクスディスプレイ(LED 表示)
フロントパネル右のドットマトリクスディスプレイ(LED 表示)は、選択された入力と音量レベルを表示します。

■ タッチパネルディスプレイ
フロントパネル中央の操作用ノブに搭載されたタッチパネルディスプレイは、本体電源の On/Off と入力切替、その他機能の調整に使用します。

本体の電源を On(スタンバイモードから起動)にする場合は、操作用ノブのタッチパネルに触れるか、リモコンの電源ボタンを押してください。
この操作により、本機は真空管の予熱を行う電源投入シーケンスを開始します。この際、タッチパネルディスプレイに、真空管アイコンとカウントダウンタイマーが表示されます。

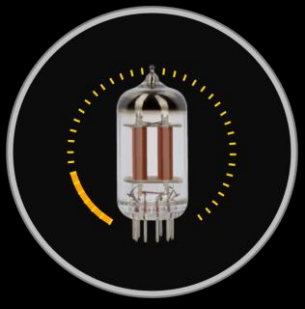
予熱が完了すると、本機は自動的にディフォルト設定、または前回選択した入力に切り替わります。この間、ドットマトリクスディスプレイは CANOR ロゴを表示します。その後、現在選択中の入力と音量レベルを表示します。



本体の電源を Off(スタンバイモードへ戻す)にする場合は、タッチパネルディスプレイを上から下へスワイプしてください。電源 Off アイコンが表示されます。

シャットダウンプロセスを開始するには、電源 Off アイコンを２秒間押し続けてください。
これにより、本機は真空管の冷却シーケンスを開始します。タッチパネルディスプレイは真空管とシャットダウンまでの時間を表すカウントダウンタイマーを表示し、ドットマトリクスディスプレイは CANOR ロゴを表示します。

冷却が完了すると、本機はスタンバイモードに移行し、ディスプレイとバックライトが消灯します。



VOLUME CONTROL （音量調整）

音量レベルは 99 段階で調整可能で、各段階ごとに 1dB ずつレベルが変化します。最大音量設定は 0dB、最小音量設定は-99dB です。
さらに 1 段階レベルを下げると、ミュートモードに切り替わります。

音量レベルは、完全左右対称なディスクリートゲイン制御によって管理されており、フロントパネルの操作用ノブか、リモコンの音量調節ボタンから調整できます。

INPUT SELECTION （入力切替）

入力切替の方法は 3 通りあります。
・リモコンの◄IN、IN►ボタンから切り替える。
・タッチパネルディスプレイを左右にスワイプする。
・タッチパネルディスプレイで選択されている入力を 2 秒間長押しして、回転セレクターのロックを解除します。操作用ノブを回すと、回転セレクターの点灯表示が入れ替わるので、希望する入力を選択し点灯表示をタップします。

本機には、以下の入力が搭載されています。
アナログ入力：PHONO, RCA1, RCA2, XLR1, XLR2
デジタル入力：USB, COAX1, COAX2, OPTO1, OPTO2, AES/EBU

アナログフォノ入力(表示：PHONO)は、MM カートリッジと MC カートリッジの両方を使用するターンテーブルに対応しています。カートリッジタイプを選択しゲインを調整するには、タッチパネルディスプレイの"PHONO"の上の"MM"または"MC"をタップして、操作用ノブを回してください。
選択可能な設定は、以下のとおりです。希望する設定に合わせ、点灯表示をタップして選択します。
・MM: 40dB, 46dB
・MC: 60dB, 66dB

さらに、負荷容量/抵抗を選択する場合は、"PHONO"の下の負荷容量/抵抗表示をタップして、操作用ノブを回してください。
選択可能な設定は、以下のとおりです。希望する設定に合わせ、点灯表示をタップして選択します。
・MM: 50pF, 150pF, 300pF, 400pF
・MC: 47k, 1k, 100Ω, 50Ω, 10Ω

CANOR

DIGITAL INPUTS / DIGITAL FILTER SELECTION　(デジタル入力/フィルター)

本機のすべてのデジタル入力は、デジタルフィルターを選択可能です。
選択可能なデジタルフィルターは、以下のとおりです。

- Fast Rolloff(高速ロールオフ)
- Slow Rolloff(低速ロールオフ)
- Minimum Phase Fast(最小位相高速)
- Minimum Phase Slow(最小位相低速)
- Linear Apodizing(リニアアポダイジング)
- Hybrid Filter(ハイブリッドフィルター)
- Brickwall Filter(ブリックウォールフィルター)
- Optimal Transient(最適トランジェント)
- MQA Filter(MQA フィルター)

フィルターを選択するには、タッチパネルディスプレイのデジタル入力形式の上の"PCM–Fx"をタップして、操作用ノブを回してください。
希望する設定に合わせ、点灯表示をタップして選択します。

DEVICE SETTINGS / SUB-MENU　(デバイス設定/サブメニュー)

　メインメニューからサブメニューを開くには、タッチパネルディスプレイを下から上へスワイプしてください。サブメニューでは、以下の設定が可能です。

1) Dimmer (輝度調整)
2) Saver (スクリーンセーバー)
3) HT mode (ホームシアターモード)
4) +3dB/+6dB gain (+3dB/+6dB ゲイン調整)
5) Skip INPUTS (入力スキップ)
6) Information (温度・回転速度)
7) Factory reset (初期化)
8) Software version (ソフトウェア情報)

　サブメニュー内の移動は、タッチパネルディスプレイを右にスワイプすると次のページを表示し、左にスワイプすると前のページに戻ります。
　サブメニューを終了してメインメニューへ戻るには、タッチパネルディスプレイを上から下へスワイプします。このスワイプ操作は、サブメニュー内のすべてのページで有効です。

1) Dimmer (輝度調整)

　本機能は、操作用ノブとディスプレイのバックライトの明るさ(輝度)を調整する機能です。輝度は、操作用ノブとリモコンの DIMM ボタンから調整し、確定操作は不要です。
　なお、本サブメニュー操作中は、操作用ノブを輝度調整に使用するため、音量レベルは調整できません。

　最低輝度レベル(Dimmer OFF)を選択した場合、３秒後にバックライトが完全に消灯します。
　ただし、操作機器に触れたり、音量や入力を変更したりすると、情報を表示するため、ディスプレイは３秒間だけ点灯します。設定を変更しない限り、最低輝度レベル(Dimmer OFF)を維持します。

2) Saver (スクリーンセーバー)

　本機能は、タッチパネルディスプレイに表示するスクリーンセーバーを選択する機能です。表示はロゴまたは VU メーターから選択可能です。選択したスクリーンセーバーは、メインメニューで１分間操作がないと表示されます。

　スクリーンセーバーは、ディスプレイに触れたり、リモコンで入力を変更したりすると消え、その後、１分間操作がないと再度表示されます。
　操作用ノブまたはリモコンで音量レベルを調整しても、スクリーンセーバーには影響しません。

CANOR

3) HT mode (ホームシアターモード)

本機能は、下記いずれかの入力１つに、固定音量を設定する機能です。
・RCA1, RCA2, XLR1, XLR2, COAX1, OPT1

入力を選択すると、現在の音量レベルが当該入力の音量として固定され、ディスプレイの入力表示が"HT"に更新されます。HT モード中は、別の入力を HT モードとして選択するか、HT モードを完全に無効化しない限り、当該入力の固定音量を調整できません。

本機能は、音量レベル調整が可能な機器に最適です。これにより、ユーザーは直接音量レベルを調節したり、特定の機器に音量レベルを合わせたりすることが可能となります。
なお、本サブメニュー操作中は、操作用ノブを HT モードの選択に使用するため、音量レベルを調整できません。

4) +3dB/+6dB gain (+3dB/+6dB ゲイン調整)

本機能は、下記アナログ入力のゲインを調整する機能です。
・PH(PHONO), RCA1, RCA2, XLR1, XLR2

対応するフィールドをタップすると、各アナログ入力のゲインを、+3dB または+6dB のいずれかの設定で微調整できます。

本機能は、異なる入力ゲインレベルを持つ機器について、ゲインレベルを揃えるのに最適です。操作用ノブを回して、サブメニューを操作してください。
なお、本サブメニュー操作中は、操作用ノブをゲイン調整の選択に使用するため、音量レベルを調整できません。

CANOR

5) Skip INPUTS (入力スキップ)

本機能は、下記入力の１つ以上を無効にする機能です。
・PHONO, RCA1, RCA2, XLR1, XLR2, USB, COAX1, COAX2, OPTO1, OPTO2, AES/EBU

入力を無効にするには、対応するチェックボックスをタップしてください。無効化された入力は、入力選択メニューや入力切替中のディスプレイに表示されません。
なお、本サブメニュー操作中は、操作用ノブを対象入力の選択に使用するため、音量レベルを調整できません。

6) Information (ヒートシンク温度・冷却ファン回転速度)

本機能は、電源部品のリアルタイムの温度データと、出力回路の両チャンネルのファン回転速度を表示する機能です。
なお、チャンネル間の温度差は、最大 10 度まで差が出る可能性がありますが、これは正常な動作状態です。本機能で表示されたデータは、あくまでも参考情報としてご利用ください。

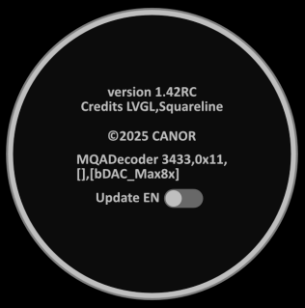
7) Factory reset (初期化)

本機能は、本機を工場出荷時の設定に戻す(初期化する)機能です。実行する場合は、以下の手順で操作してください。
「電源アイコン」をタップ　→　操作用ノブを回して「Yes」に合わせる　→　「Yes」をタップ

CANOR

8) Software version (ソフトウェア情報)

サブメニューの最後のページは、ソフトウェアバージョン情報です。



VARIABLE OUTPUT / ANALOG OUTPUT (可変出力/アナログ出力)

本機は、バックパネルに可変出力の XLR 出力１ペアと RCA 出力１ペアを備えています。これらの端子は、主にパワード(アクティブ)サブウーハーや単体のパワーアンプ用に設計されています。

ELECTRICAL PROTECTIONS (電気的保護)

機器の故障を防ぐため、本機はいくつかの先進的な故障検出機能及び保護機能を搭載しています。保護機能には、誤った機器の接続、過負荷及び出力端子の短絡に対する保護が含まれます。
これらの機能は、本機の保護はもちろんのこと、システム内の他の機器も保護するよう設計されています。

SMALL and LARGE WARNING TRIANGLE (警告表示)

小さな赤い三角にエクスクラメーションマーク(！)の警告表示は、左右いずれかのチャンネルで、本機が一時的なエラーを検出した場合に表示されます。これは、瞬間的に発生した一時的なエラー(主に信号のピーク時に生じた過負荷)を通知するための表示で、特に再生が中断されることはありません。
問題が継続しない場合、警告表示は 1 分後に消灯します。

大きな赤い三角にエクスクラメーションマーク(！)の警告表示は、本機が継続的なエラーを検出した場合に表示されます。再生が中断され、本機のアンプ出力回路が切断されます。本警告表示が表示された場合は、本体の電源を Off にしてください。
エラーの詳細については、後述の「OT PROTECTION (高温に対する保護機能)」「OC PROTECTION (過電流に対する保護機能)」「DC ERROR (DC エラー)」の項目を参照してください。

OT (OVERTEMPERATURE) PROTECTION (高温に対する保護機能)

本機は、通常動作中に最大 100 度に達することがあります。これは想定範囲内であり、通常動作の範囲内です。

OT Protection (高温に対する保護機能)は、本機が不適切な場所に設置されたり、冷却ファンに十分な空気が供給されなかったりして過熱されると作動します。高温状態の場合、大きな赤い三角の警告表示が表示されます。これは左右いずれかのチャンネルで、高温アラートが検出されている状態です。問題を解決するには、本体の電源を Off にして、数分間本機を冷ましてください。

この問題を防止するには、本機を冷却ファンに十分な空気を送れる場所に確実に設置してください。また、冷却ファンの表面(グリル)が覆われたり、空気の流れが妨げられたりしていないか、再度確認してください。
本エラーが解消しない場合は、正規代理店またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

CANOR

OC (OVERCURRENT) PROTECTION　(過電流に対する保護機能)

　OC Protection (過電流に対する保護機能)は、本機が過電流、過負荷またはスピーカーターミナルの短絡を検出した場合に作動します。出力に継続的な過負荷がかかった場合、またはスピーカーターミナルが誤って短絡した場合に本機能が作動し、アンプの出力回路を遮断します。
　出力回路の過負荷は、不適切なスピーカー(主にインピーダンスが低すぎるスピーカー)を選択することで発生する恐れがあります。

　過負荷状態の場合、大きな赤い三角の警告表示が表示されます。これは左右いずれかのチャンネルで、過電流アラートが検出されている状態です。問題を解決するには、本体の電源を Off にして、数分間本機を冷ましてください。
　その後、スピーカーターミナルが短絡していないこと、スピーカーの＋極と－極が逆接続されていないこと、スピーカーが要求されるインピーダンスを満たしていることを確認してください。
　本エラーが解消しない場合は、正規代理店またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

DC ERROR　(DCエラー)

　出力に DC(直流)信号電圧が検出された場合、DC エラーを表示します。これは外部接続機器の故障が原因である可能性があります。問題を解決するには、本機から接続機器のプラグを抜いてください。
　本エラーが解消しない場合は、正規代理店またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

FAN STOP WARNING　(冷却ファン停止警告)

　冷却ファンのいずれかが故障した場合、Fan Stop Warning (冷却ファン停止警告) を表示します。冷却ファンの表面(グリル)に、異物が付着していないか確認してください。
　本警告検出時は、警告表示が他の UI 表示を覆い隠します。

CANOR

INPUT RELAY CLEANING (入力リレーのクリーニング)

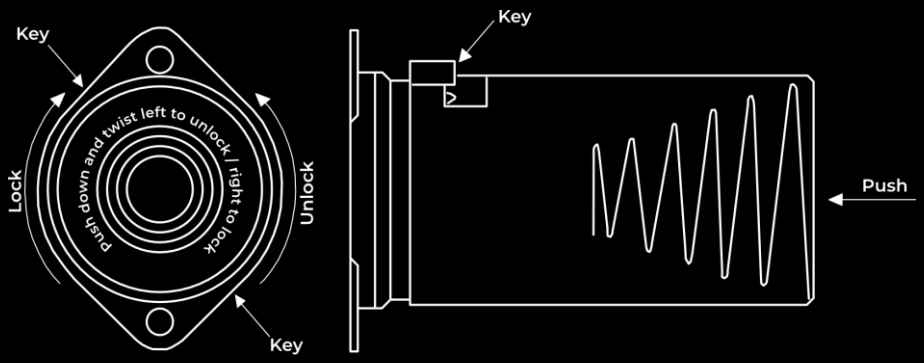
本機は使用済み電子リレーの接点に対する機能を搭載しています。本機能は、長期間使用されていないリレー接点の寿命を延ばし、電気的導電性を高めることを目的としています。
本機の全リレーに対し、高周波信号が複数回連続的に通電されると、クリーニングが実行されます。本機能は電源を 20 回 Off にするごとに自動的に開始されます。また進行状況は、フロントパネルのドットマトリクスディスプレイに表示されます。

PRE-AMPLIFIER VACUUM TUBE ANTI-RESONANCE COVER (真空管用アンチレゾナンス・カバー)

本機のプリアンプ用真空管は、アンチレゾナンス・カバーに収納されています。このカバーは、防振・遮蔽効果があるだけでなく、輸送中の真空管保護の役割も担っています。

真空管の交換が必要な場合は、以下の手順でカバーを取り外してください。
1. カバーを軽く押さえながら、左に回します。
2. ロック溝からカバーをスライドさせて外し、持ち上げます。

真空管の交換後、ロック溝に位置を合わせて、慎重にカバーを元の位置に戻します。軽く押し下げながら右に回して固定してください。



EUROPEAN COMMUNITY DIRECTIVES (CEマーク認証)

本機は、欧州共同体の現行法規に適合するよう設計・製造されています。
試験機関にて認証を取得し、CE マークを表示しています。

CANOR

SPECIFICATIONS (スペック情報)

ステレオ出力	: 2 x 140W / 4Ω, 2 x 100W / 8Ω (IHF Dynamic Power)
ヘッドホン用アンバランス出力	: 500mW / 30Ω, 70mW / 300Ω
ヘッドホン用バランス出力	: 500mW / 30Ω, 270mW / 300Ω
ゲイン	: 34.5dB
入力感度	: 550mV
ゲイン(フォノ)	: MM -40dB, MM -46dB, MC -60dB, MC -66dB
ダンピングファクター	: 180 / 4Ω, 380 / 8Ω
周波数レンジ	: 10 - 35,000Hz (±0.5dB / 5W)
入力インピーダンス	: 50kΩ
アナログ入力	: RCA(フォノ) 1 ペア / RCA 2 ペア / XLR 2 ペア
アナログ可変出力	: RCA 1 ペア / XLR 1 ペア
デジタル入力	: 1 x USB / 2 x Coax / 2 x Opto / 1 x XLR(AES/EBU)
DAC 構成	: 2 x ESS 9038 (Dual Mono)
ヘッドホン用出力	: 1 x 6.3mm jack / 1 x 4-pin XLR
THD (Total Harmonic Distortion)	: < 0.005% / 1kHz, 5W < 0.008% / 1kHz, 1W
S/N 比	: > 90dB (20Hz – 20,000Hz)
真空管コンプリメント	: 2 x E88CC
トリガー接続(12V)	: 1 x IN (3.5mm jack) / 2 x OUT (3.5mm jack)
電源	: 100V, 50 - 60Hz, 430VA
サイズ (W x H x D)	: 435 x 130 x 460mm
重量	: 18kg

CANOR

GUARANTEE CONDITIONS (保証)

本機の保証は、日本輸入総代理店【株式会社タクトシュトック】が行います。本取扱説明書とその手順についてご質問がある場合及び修理が必要な場合は、販売店または株式会社タクトシュトックにお問い合わせください。

本機は、材料及び製造上の欠陥に対して、ご購入の日から２年間保証されます。ただし、真空管は３ヶ月の保証となります。また保証の適用には、購入証明書と保証書の原本が必要です。
保証は材料及び製造上の欠陥を対象とし、誤った使用、無許可の改造及び自然災害などの外部的要因による損傷は保証の対象外となります。

※ 詳しくはHP (https://www.taktstock.co.jp/) をご確認ください。
※ デザイン・性能等は事前の予告なしに変更される場合がございます。
※ 本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は必ず保管しておいてください。

CANOR

TAKTSTOCK

Walk with warm Heart

株式会社タクトシュトック
〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘２丁目 33-10
ＨＰ：https://www.taktstock.co.jp/
TEL：042-316-9517　FAX：042-316-9518
E-mail：info@taktstock.co.jp

2025.11.1 (Ver. 2.01)